



2025年3月期

決算説明資料

株式会社翻訳センター[証券コード:2483]

2025年5月

Table of Contents

- 会社概要
- 連結決算概要
- 2026年3月期業績予想
- 中期経営計画
- Appendix

Section 1

■会社概要

■連結決算概要

■2026年3月期業績予想

■中期経営計画

■Appendix

会社概要

企業理念

産業技術翻訳を通して、国内・外資企業の国際活動をサポートし、国際的な経済・文化交流に貢献する企業を目指す

経営ビジョン

すべての企業を世界につなぐ言葉のコンシェルジュ

人と人とのコミュニケーションになくてはならないのが「言葉」です。
 国や言語が違って「言葉」は世界の人々が理解し合うための重要なツールです。
 翻訳センターは、「言葉」でお客様を世界につなぎます。

会 社 名 株式会社 翻訳センター
 本社所在地 大阪本社：大阪府大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
 東京本社：東京都港区赤坂1丁目12番地32号
 代 表 者 二宮 俊一郎
 設 立 1986年4月
 資 本 金 5億8,844万円(2025年3月末現在)
 従 業 員 数 545人(2025年3月末現在)*連結
 事 業 所 大阪、東京、名古屋

関 係 会 社 株式会社アイ・エス・エス
 株式会社メディア総合研究所
 株式会社FIPAS
 株式会社パナシア
 株式会社福山産業翻訳センター
 ランゲージワン株式会社(持分法適用会社)
 事 業 内 容 翻訳事業、通訳事業、派遣事業、
 コンベンション事業、通訳者・翻訳者養成、
 外国特許出願支援、メディカルライティング、
 多言語コールセンター

Section 2

■会社概要

■連結決算概要

■2026年3月期業績予想

■成長戦略

■Appendix

2025年3月期業績ハイライト

売上高

11,210百万円

前期比△0.8%

営業利益

890百万円

前期比△1.3%

経常利益

905百万円

前期比△3.5%

当純純利益

723百万円

前期比+1.7%

POINT.1

翻訳事業と通訳事業で過去最高の売上高を更新するも、コンベンション事業縮小に伴う大幅減収が影響

POINT.2

人件費を中心とした販管費の増加が営業利益を圧迫

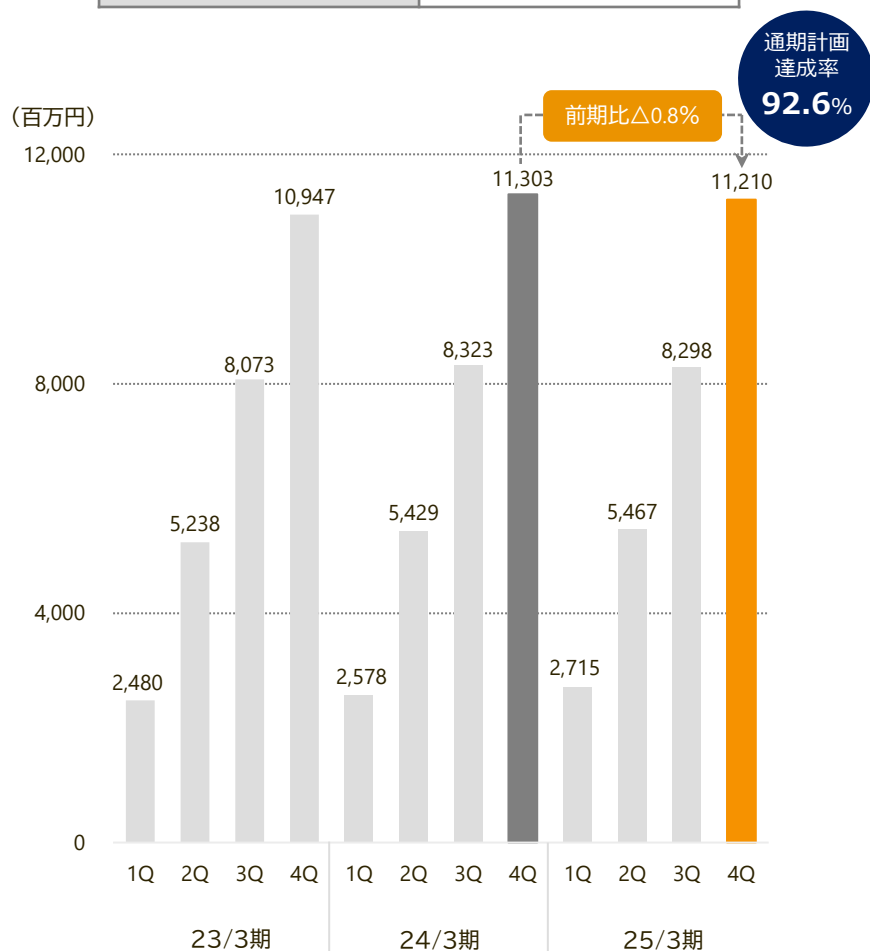
POINT.3

子会社株式売却益と移転補償金の計上により当期純利益は増益

2025年3月期業績サマリー

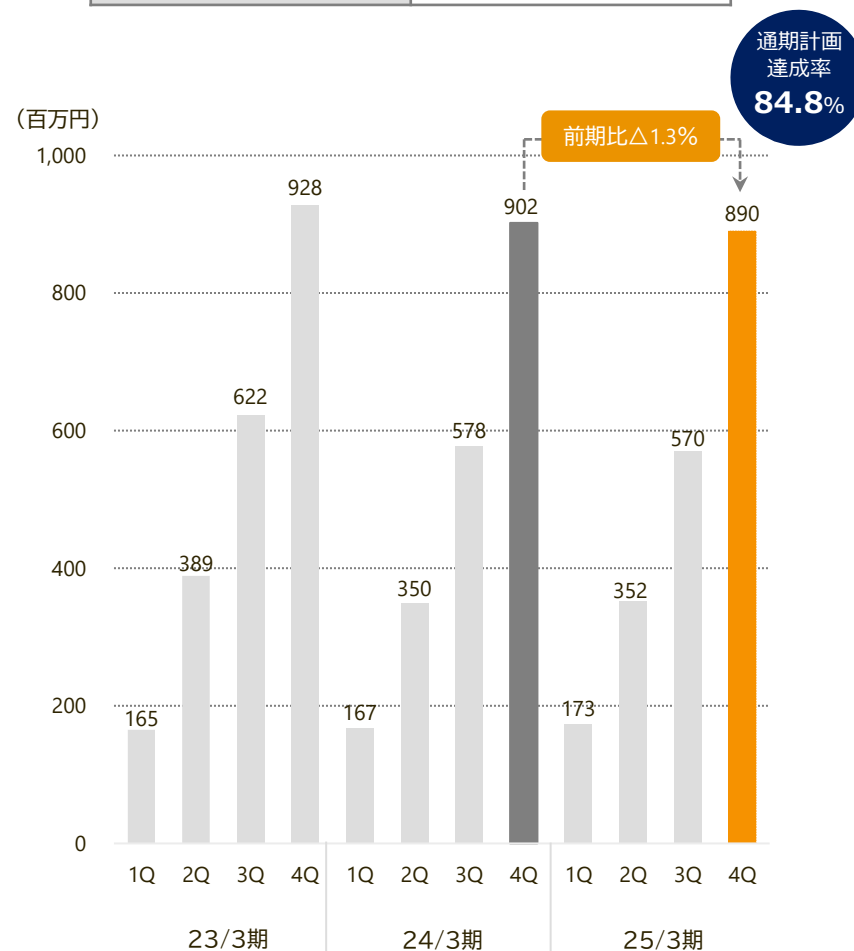
売上高

11,210百万円



営業利益

890百万円



2025年3月期業績

(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率
売上高	11,303	11,210	△93	△0.8%
翻訳事業	8,458	8,507	48	0.5%
特許	2,902	2,911	9	0.3%
医薬	2,605	2,694	89	3.4%
工業・ローカライゼーション	2,368	2,280	△87	△3.7%
金融・法務	582	619	37	6.4%
派遣事業	1,174	1,175	1	0.1%
通訳事業	1,095	1,187	91	8.3%
その他	575	340	△235	△40.8%
売上原価	5,990	5,895	△95	△1.5%
売上総利益	5,313	5,314	1	0.0%
売上総利益率	47.0%	47.4%	0.4pt	—
販売管理費	4,410	4,424	13	0.2%
営業利益	902	890	△11	△1.3%
経常利益	938	905	△32	△3.5%
特別利益	69	195	126	183.3%
特別損失	2	14	12	602.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	711	723	12	1.7%

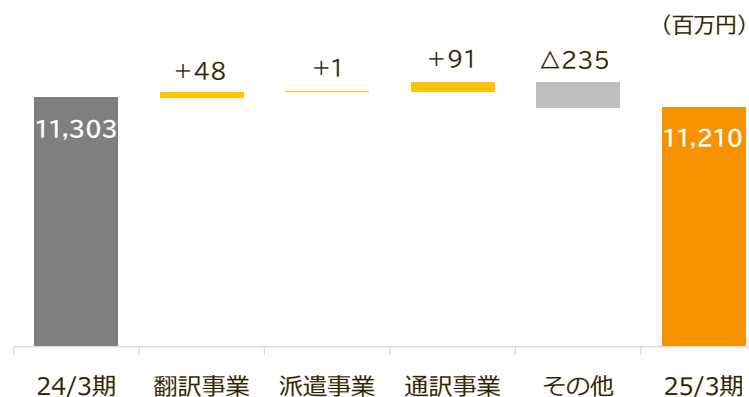
*コンベンション事業はコロナ前と比較してグループ全体の売上・利益に占める割合が相対的に低くなったため、2025年3月期より「その他」の事業に含めて報告する方法に変更しています。そのため、2024年3月期のコンベンション事業の実績につきましては「その他」に含めております。

2025年3月期業績

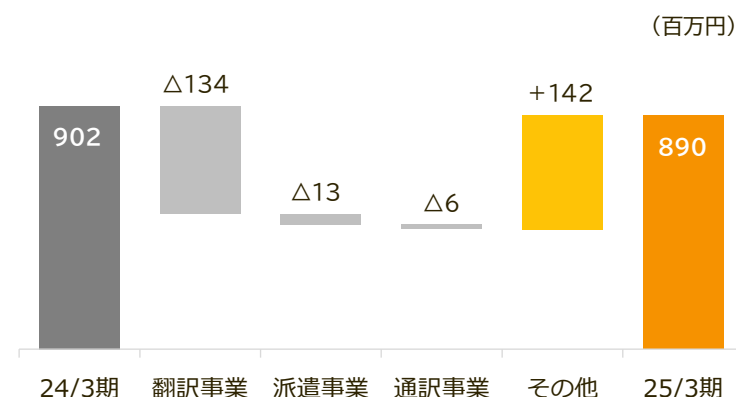
(百万円)

		2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率
翻訳事業	売上高	8,458	8,507	48	0.5%
	セグメント利益	911	776	△134	△14.8%
派遣事業	売上高	1,174	1,175	1	0.1%
	セグメント利益	44	30	△13	△30.8%
通訳事業	売上高	1,095	1,187	91	8.3%
	セグメント利益	95	89	△6	△6.3%
その他	売上高	575	340	△235	△40.8%
	セグメント利益	△152	△10	142	93.3%

セグメント別売上高(前期増減)



セグメント利益(前期増減)



*その他は、コンパニオン事業、語学教育事業、外国特許出願支援事業で構成
 *営業利益は調整額を含めておりません

Section 3

■会社概要

■連結決算概要

■2026年3月期業績予想

■中期経営計画

■Appendix

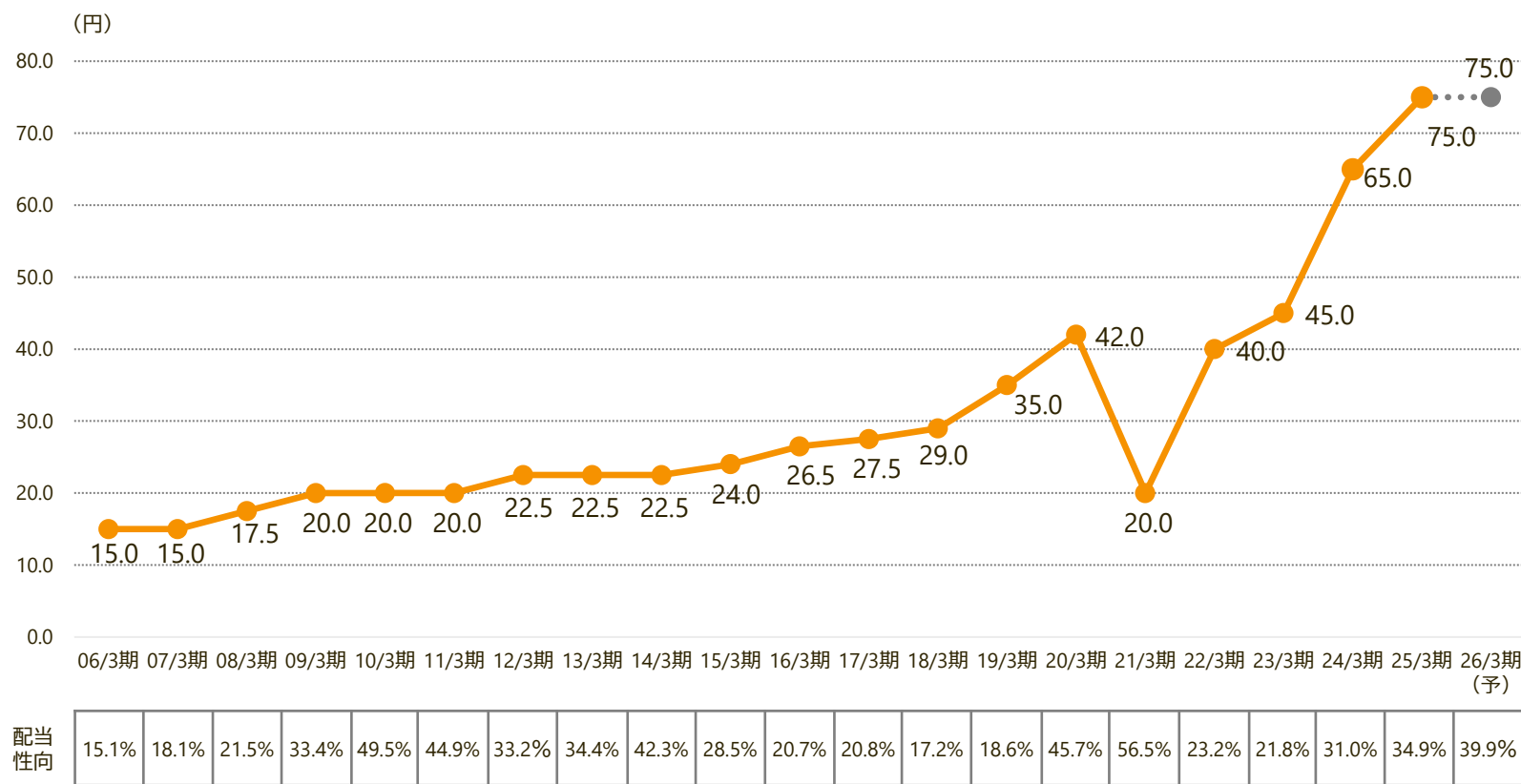
2026年3月期予想

(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率
売上高	11,210	11,400	189	1.6%
翻訳事業	8,507	8,650	142	1.6%
特許	2,911	3,000	88	3.0%
医薬	2,694	2,840	145	5.3%
工業・ローカライゼーション	2,280	2,140	△140	△6.1%
金融・法務	619	670	50	8.0%
派遣事業	1,175	1,180	4	0.3%
通訳事業	1,187	1,250	62	5.3%
その他	340	320	△20	△5.9%
売上原価	5,895	6,050	154	2.6%
売上総利益	5,314	5,450	135	2.5%
売上総利益率	47.4%	47.8%	0.4pt	—
販売管理費	4,424	4,550	125	2.8%
営業利益	890	900	9	1.0%
経常利益	905	920	14	1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	723	630	△93	△12.9%

株主還元

2024年3月に配当方針を変更し、配当性向の目標を35%に制定。26/3期の配当は前期を据え置き、75円/株を予想(配当性向39.9%)



*2013年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を、また2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施しております。
 上記グラフでは当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たりの指標の推移を記載しています。

Section 4

■ 会社概要

■ 連結決算概要

■ 2026年3月期業績予想

■ 中期経営計画

■ Appendix

前中期経営計画の振り返り

重点施策の取り組みにより一定の成果を確認も、さらなる成長に向けた課題を認識

■ 前中期経営計画の重点施策に対する評価

ドキュメント
集約メカニズムの構築



- ✓ 医薬、特許、IRではドキュメント集約の取り組みに成功
- ✓ その他の業界・分野では十分な成果が得られず

ドキュメント別
言語資産活用モデルの確立



- ✓ ドキュメント別や言語別の機械翻訳モデルを構築
- ✓ 制作プロセス改善による生産性向上に課題

働き方改革や事業変革を支える
経営基盤の整備



- ✓ リモートワークを前提とした労働・職場環境の整備や
グループ会社の拠点集約によるシナジー基盤を構築

第6次中期経営計画 概要

■ 基本方針

New Standards in Translation

翻訳センターグループは、専門分野に精通した翻訳者・通訳者と日々蓄積される豊富な言語資産の活用を通じて、デジタル時代に対応した言語サービスを提供することで、顧客から最も信頼される言語サービスのパートナーになることを目指します。

■ 重点施策

- AI・データの活用による事業競争力の強化
- 業務効率化の推進
- 安定した収益基盤の確立

■ 連結業績目標(2028年3月期計画)

売上高

130億円

営業利益

12億円

当期純利益

8億円

ROE

10%以上

AI・データの活用による事業競争力の強化

MT・LLMの活用による QCDの改善

当社の翻訳サービスの強み



翻訳者との信頼関係



自社専用エンジンを保有



専門文書への対応力

最新テクノロジーのフル活用

データドリブンによる 営業・マーケティングの強化



データを活用し、営業プロセスや
ターゲティングを最適化



サービス提供



顧客の状態に
沿ったアプローチ
やサービス提案



専門文書における競争優位性を確立

業務効率化の推進

社内プロジェクト管理業務の効率化を推し進め、利益率の維持・向上を図る

これまでの取り組み

機械翻訳の活用で
登録翻訳者の
作業効率を向上

機械翻訳の活用効果

- 作業時間の短縮
- 翻訳品質の安定
- 翻訳単価の低減



新たな取り組み

社内プロジェクト管理業務の効率化
(BPRプロジェクトの推進)

期待される効果

- 工程管理の精度向上による品質の安定
- プロジェクトマネージャの生産性の向上

安定した収益基盤の確立

資本効率を重視したグループ事業ポートフォリオの最適化

競争力の高い事業への
選択と集中

利益管理手法の
改善・強化

▶ 資本効率の向上と
成長期待の醸成

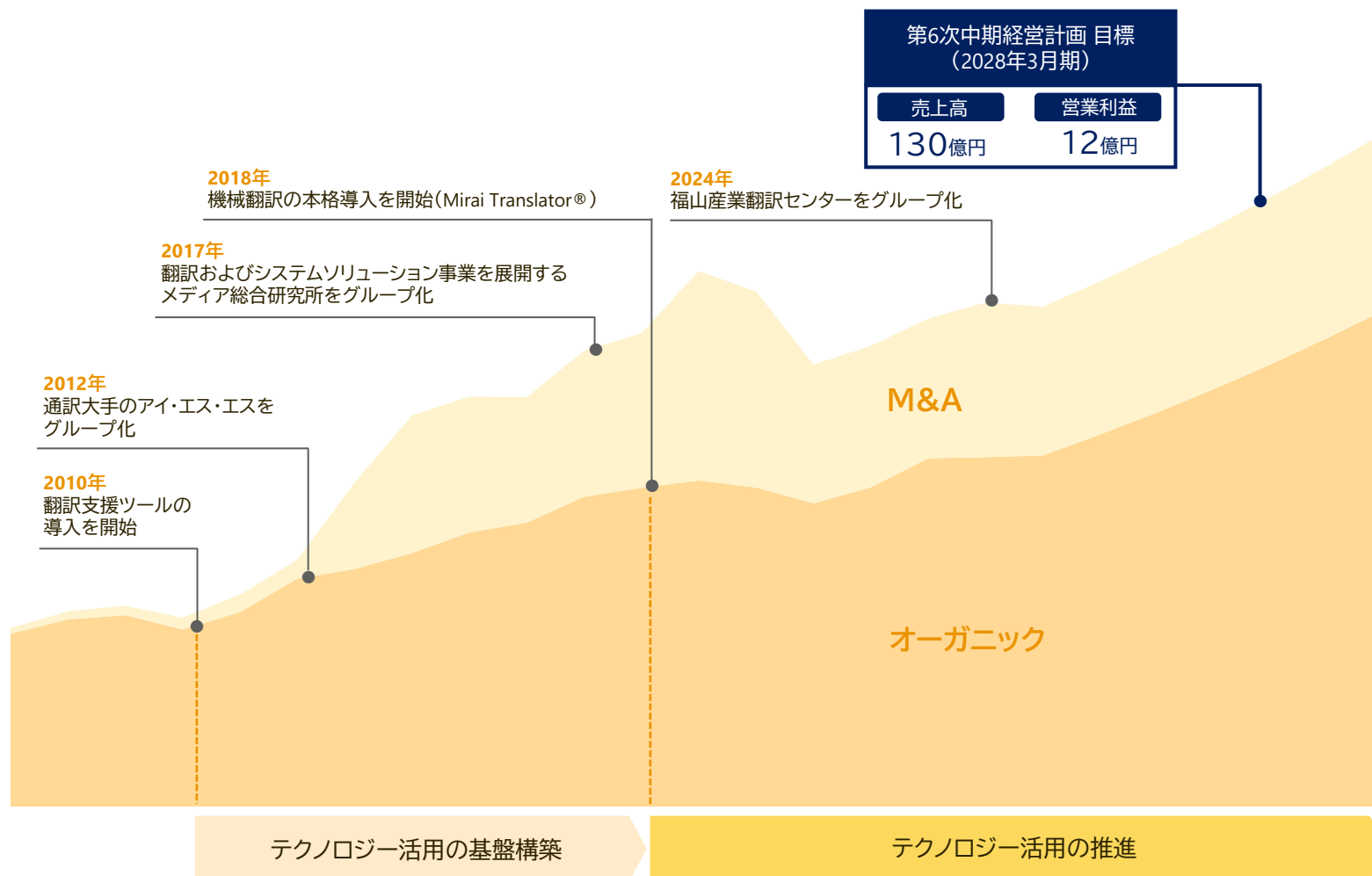
成長領域に対する投資

翻訳事業のシェア拡大

新しい成長事業の獲得

▶ 将来の収益源の育成

成長イメージ



Section 5

■会社概要

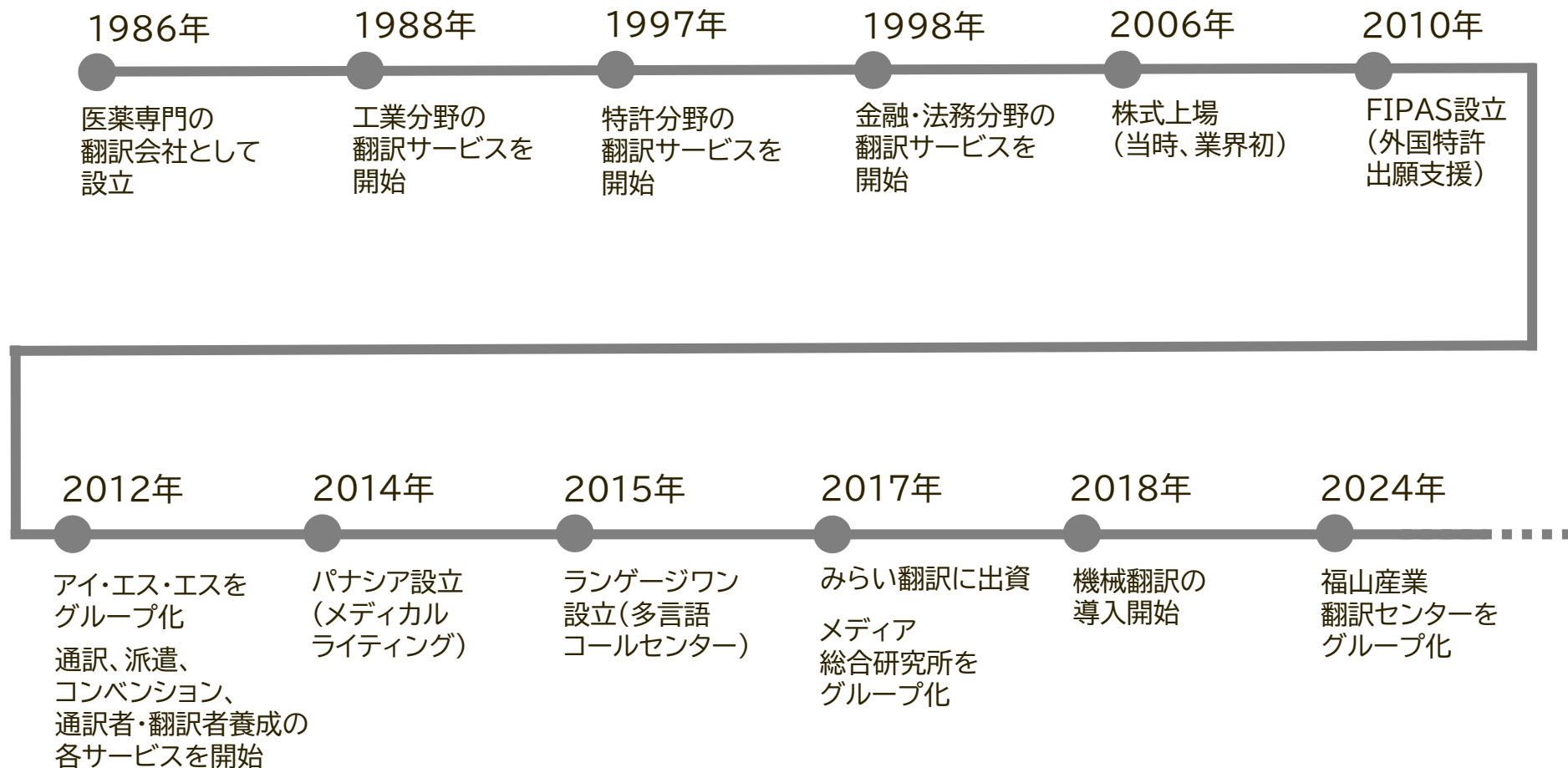
■連結決算概要

■2026年3月期業績予想

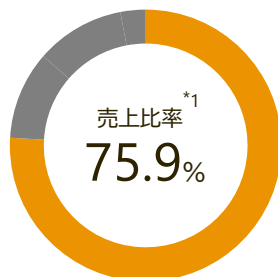
■中期経営計画

■Appendix

沿革



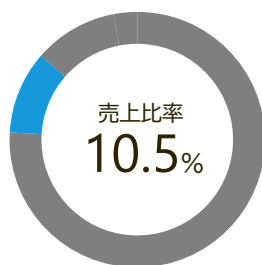
事業概要



翻訳事業

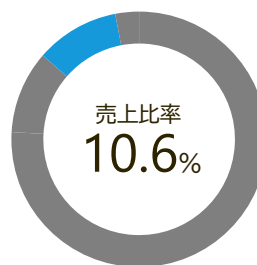
- ・特許、医薬、工業・ローカライゼーション、金融・法務に特化した技術・ビジネス文書の翻訳
- ・臨床試験関連文書の作成（メディカルライティング）
- ・機械翻訳「Mirai Translator[®]」、翻訳支援ツール「Phrase TMS」等、AI・ソフトウェアサービスの提供

顧客企業への
通訳者・翻訳者の派遣



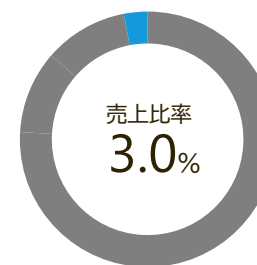
派遣事業

会議、商談、視察・査察等の
ビジネス通訳



通訳事業

外国への特許出願支援、
通訳者・翻訳者の養成、
会議・学会等の企画・運営等

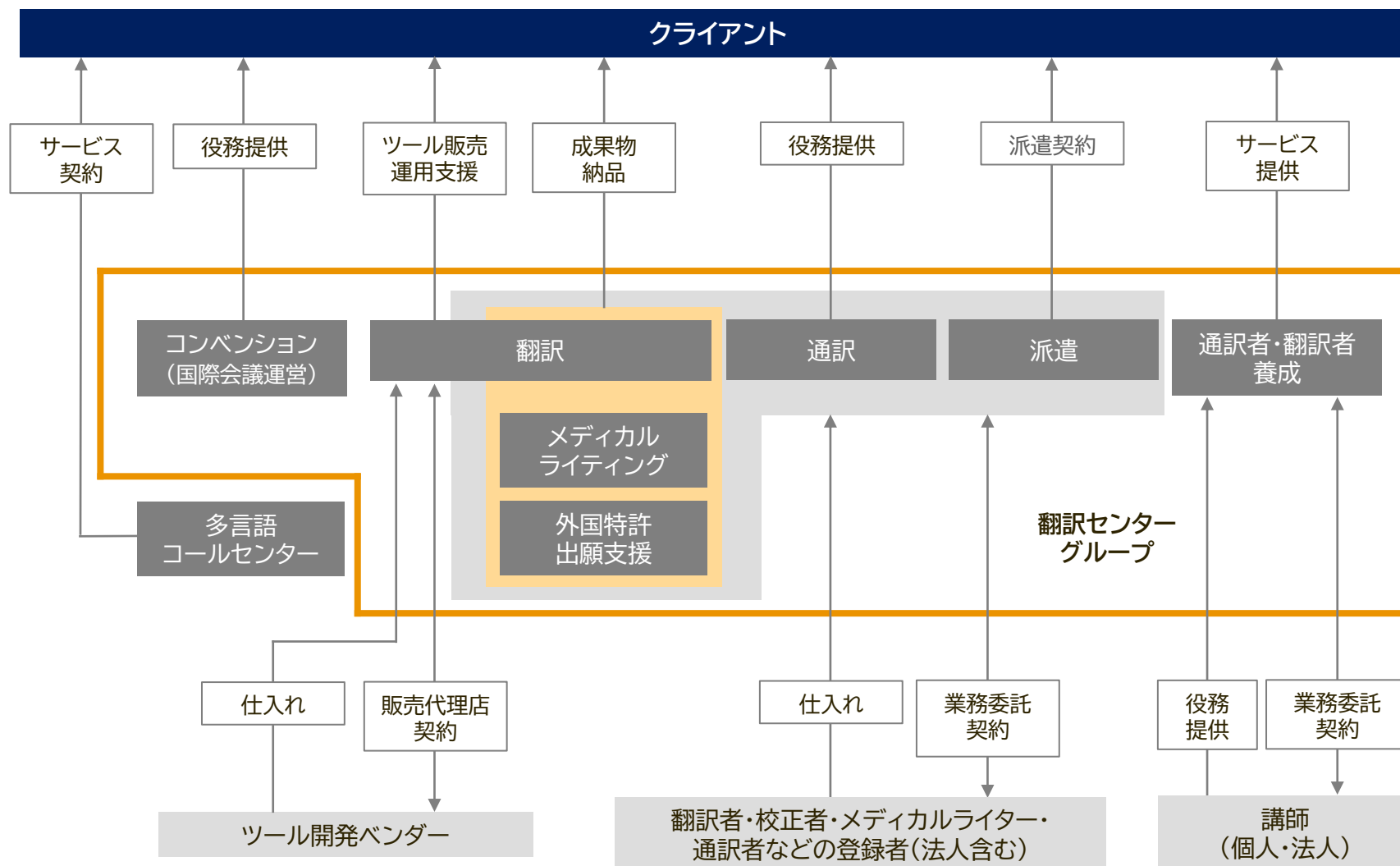


その他^{*2}

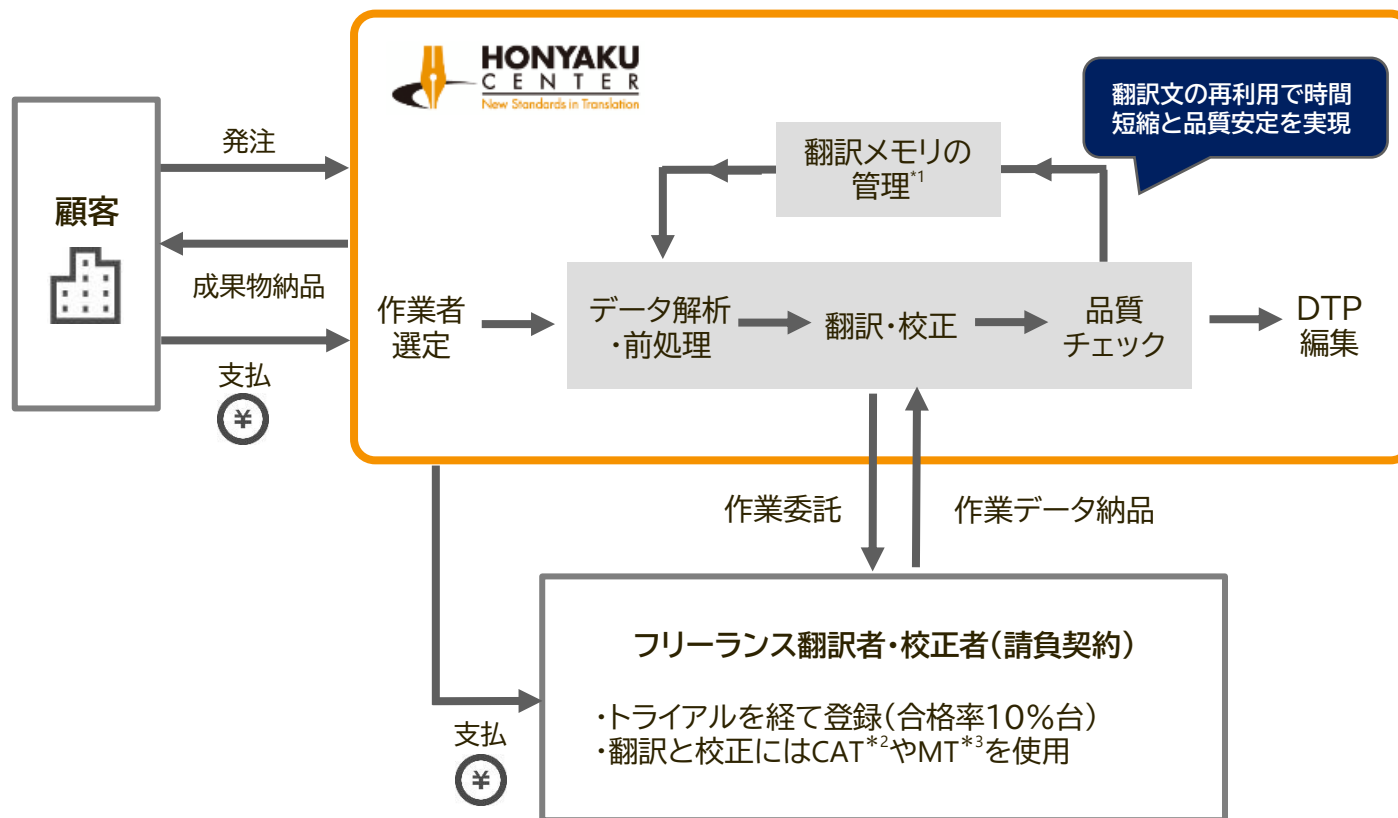
*1 2025年3月期実績（翻訳事業以外も同様）

*2 コンベンション事業は2025年3月期より「その他」の事業に含めて報告する方法に変更したため、同事業の2025年3月期実績は「その他」に含めております。

事業系統図



ビジネスモデル



*1 翻訳メモリ: (Translation Memory)とは過去に翻訳した文章を原文と訳文のペアでデータベース化したものであり、略して「TM」とも言う。

*2 CAT: 翻訳支援ツール(Computer-Assisted Translation | 翻訳者や校正者の作業を支援し、作業効率向上に導くソフトウェア)の略語

*3 MT: 機械翻訳(machine translation | 人を介さず機械が行なう翻訳)の略語

当社グループの特長



顧客ポートフォリオ



テクノロジーの活用



外国語の総合サプライヤー

顧客ポートフォリオ

顧客数 ^{*1} 3,300 社

年間受注件数 ^{*1} 49,200 件

医薬品・医療



- ・医薬品
- ・CRO
- ・医療機器
- ・大学、病院

[取引実績]*2
世界売上高
100億ドル超
26社の96%

特許



- ・特許事務所
- ・企業知財部
- ・特許調査会社

[取引実績]*3
出願件数上位
100事務所の
約70%

製造業



- ・自動車
- ・機械
- ・電機、電子
- ・エネルギー

非製造業



- ・情報、通信
- ・サービス
- ・インフラ

金融・保険・法律



- ・証券、銀行
- ・損保、生保
- ・法律事務所

官公庁・公社



- ・官公庁
- ・独立行政法人
- ・公益法人

*1 2025年3月31日時点

*2 2022年12月期(一部の日本企業は2023年3月期、豪CSLは2022年6月期)の世界売上高が100億ドルを超える企業26社をランキングして算出

*3 知財ラボ「2022年特許事務所ランキング(<https://jp-ip.com/ranking-list/index/2/1>)」をもとに算出

テクノロジーの積極活用



翻訳支援ツール [CAT]

翻訳メモリの生成

用語管理

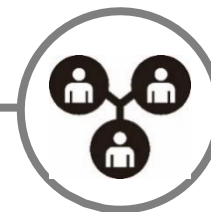
人的ミスの検出



機械翻訳 [MT]

下訳の自動生成

※MTIはCATに連携させて使用



翻訳管理システム [TMS]

プロジェクト管理

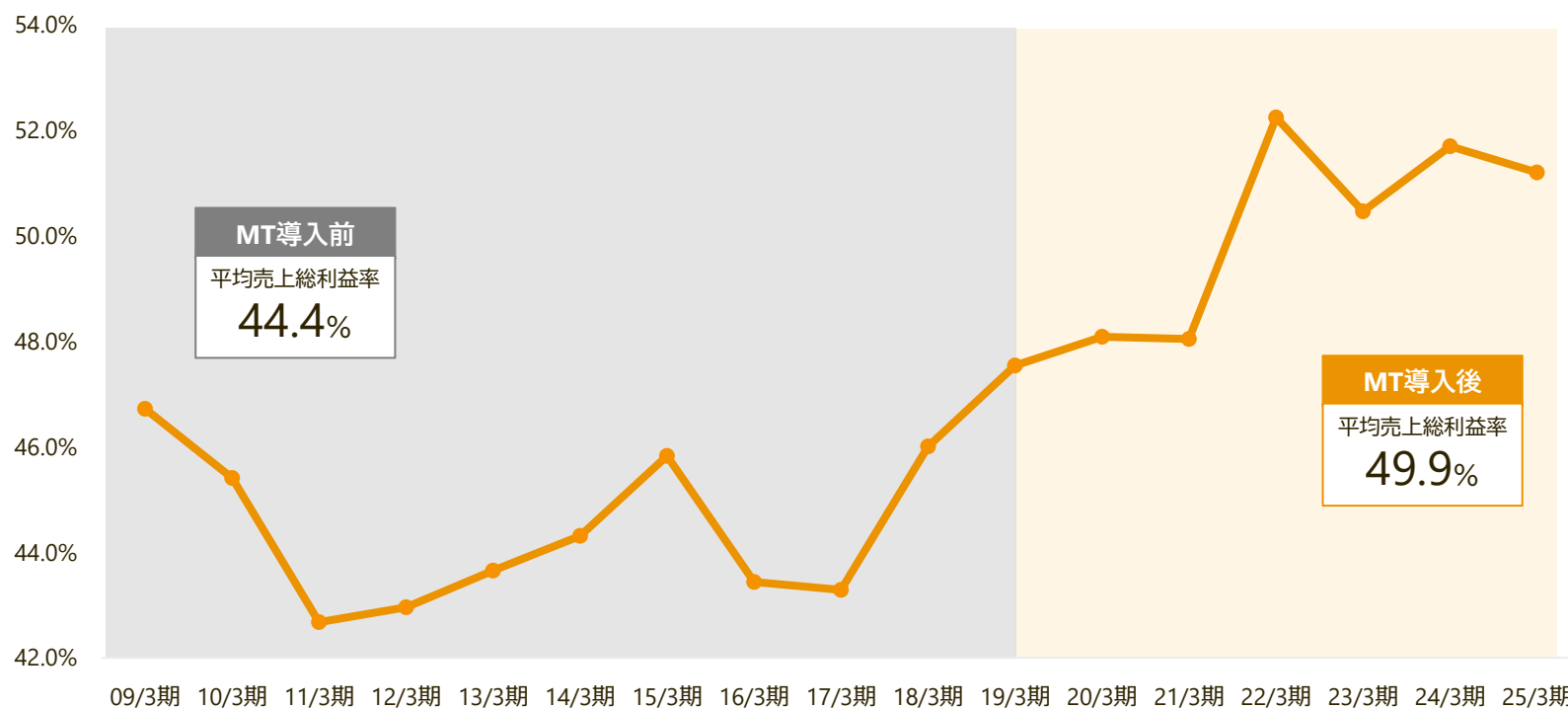
言語資産の一元管理

外部システムとの連携

テクノロジーの積極活用

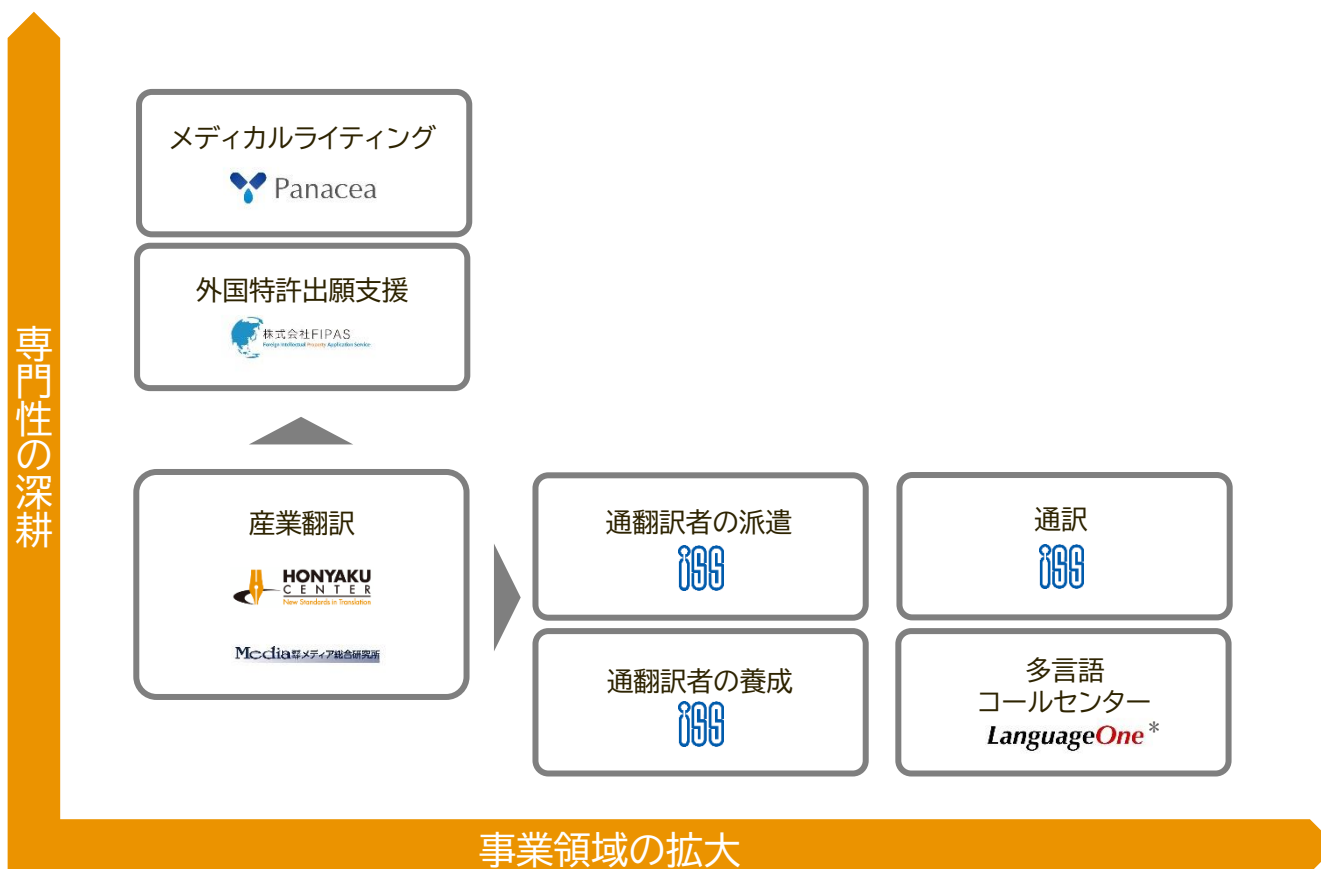
機械翻訳(MT)を下訳として活用することで、翻訳センター(単体)の売上総利益率が向上

翻訳センター(単体)の売上総利益率



外国語サービスの総合サプライヤー

産業翻訳を軸に成長しながら、通訳・派遣やライティング・出願支援等の周辺事業にも進出。外国語サービスの総合サプライヤーとして企業の国際活動を幅広く支援



*持分法適用会社

各種指標推移

(百万円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
売上高	11,550	9,910	10,337	10,947	11,303	11,210
経常利益	822	465	841	960	938	905
親会社株主に帰属する当期純利益	304	117	573	686	711	723
資本金	588	588	588	588	588	588
発行済株式総数(株)	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000
純資産額	4,545	4,524	5,090	5,672	6,250	6,760
総資産額	6,222	6,295	7,172	7,486	8,326	8,836
自己資本比率(%)	73.0	71.8	70.9	75.7	75.0	76.5
売上高経常利益率(%)	7.0	4.7	8.1	8.7	8.2	8.0
連結従業員数(人)	522	509	520	521	562	545
登録者数(人)*	3,030	3,249	2,681	2,815	2,866	2,911

*翻訳センター単体

連結財務諸表 推移

(百万円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
売上高	11,550	9,910	10,337	10,947	11,303	11,210
翻訳事業	8,112	7,520	7,828	8,457	8,458	8,507
特許	2,258	2,100	2,316	2,708	2,902	2,911
医薬	2,749	2,875	2,904	2,796	2,605	2,694
工業・ローカライゼーション	2,472	2,038	2,028	2,376	2,368	2,280
金融・法務	632	505	580	575	582	619
派遣事業	1,200	1,228	1,212	1,119	1,174	1,175
通訳事業	1,022	477	655	854	1,095	1,187
その他	432	385	420	365	342	340
コンベンション事業	782	298	220	152	233	
売上原価	6,625	5,536	5,429	5,860	5,990	5,895
売上総利益	4,925	4,373	4,907	5,087	5,313	5,314
売上総利益率	42.6%	44.1%	47.4%	46.4%	47.0%	47.4%
販売管理費	4,111	3,955	4,096	4,159	4,410	4,424
営業利益	813	418	811	928	902	890
経常利益	822	465	841	960	938	905
親会社株主に帰属する当期純利益	304	117	573	686	711	723

連結貸借対照表 推移

(百万円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
資産の部						
流動資産	5,213	5,515	6,311	6,611	7,289	7,667
固定資産	1,009	780	861	875	1,036	1,169
資産合計	6,222	6,295	7,172	7,486	8,326	8,836
負債の部						
流動負債	1,503	1,595	1,891	1,618	1,853	1,848
固定負債	173	175	190	195	221	227
負債合計	1,676	1,770	2,081	1,813	2,075	2,075
純資産の部						
株主資本	4,531	4,514	5,068	5,630	6,203	6,724
その他の包括利益累計額	13	10	22	42	47	36
純資産合計	4,545	4,524	5,090	5,672	6,250	6,760
負債純資産合計	6,222	6,295	7,172	7,486	8,326	8,836

本資料には、当社に関する業績や見通し、将来に関する計画、経営目標などに関する情報が含まれています。
これらは資料作成時点での想定に基づくものであり、これら情報が正確である保証はありません。
また開示規則により求められる場合を除き、本資料に記載の情報は予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ先

株式会社翻訳センター 経営企画室

E-mail

ir@honyakuctr.co.jp

IRサイト

<https://www.honyakuctr.com/ir/>